

# 新たな視点を身につける

疾患・障害をもつ人との共同に関する講義や対話の中で、医療者としての姿勢、倫理観・価値観について考えを深め、新たな視点を体得することができます。

## 4/25 木 17:30 オリエンテーション

東京大学医学部 医学科・健康総合科学科 学部学生向け教育プログラム  
医学のダイバーシティ&インクルージョン  
人材育成プログラム2024

### ■対象

医学科・健康総合科学科 学部学生  
2023年度登録者：医学科19名、健康総合科学8名

### ■内容

#### ダイバーシティ&インクルージョン領域

- ◆健康の社会的決定要因 (Social determinants of health: SDH) についての実践的教育
- ◆ジェンダー、多文化、医療人類学などに関連する教育的プログラムを実施

#### 共同創造領域

- ◆医療開発における患者・市民参画 (Patient-public involvement: PPI) の重要性やユーザーリサーチ、当事者研究について学ぶ
- ◆障害のある医療人のバリアフリーやピアサポートについて学ぶ

### ■オリエンテーション 日時・場所

4/25 (木) 17:30-18:45  
医学部3号館 1階 S102(玄関入ってすぐの教室)  
※ご参加希望の方は以下にご入力ください  
<https://forms.gle/YHoNKTj2me9eUQ3Q8>

### ■プログラムの構成

レクチャーや実習、抄読会などで構成されています。  
テーマや講師は、学生さんと相談しながら決めていきます。  
(参照：裏面 2023年度プログラム)

月1回木曜日 17:30-18:45

初回オリエンテーションで探究したいテーマについて意見交換を行い、学生さんと共にプログラムを創っていきます。2022年度は本領域に関するご高名な先生方の講演会を実施しました。2023年度は、学生さん発案の調査企画立案と視察などを行いました。(裏面「2023年度実施レクチャー&話し合い」参照)

レクチャー

&話し合い

抄読会

実習

月1回程度

日時は学生さんと相談の上、調整します。  
医療現場や医学教育におけるD&Iについて、海外で用いられている教科書を読み合わせます。教科書を精読するよりも、テーマに応じて日々の学生・職業生活における小さな障壁を振り返る、アットホームな学びの場です。

不定期

日時は学生さんと相談の上、調整します。  
研究室訪問・フィールドワーク・生活困窮者支援の現場実習などを計画しています。

主催 医学のダイバーシティ教育研究センター <https://cdmer.jp>

問い合わせ 里村嘉弘 [satomura@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:satomura@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

# 【ご参考】

東京大学医学部 医学科・健康総合科学科 学部学生向け教育プログラム

# 医学のダイバーシティ&インクルージョン 人材育成プログラム2023の様子

## 2023年度実施レクチャー&話し合い

日程	内容
2023/04/28	オリエンテーション (プログラムの紹介・グループディスカッション: D&Iについての関心事、学びたいこと)
2023/05/19	話題提供・ディスカッション 「本プログラムで、明らかにしたいこと、 調査していきたいこと、発信したいこと」
2023/06/16	ディスカッション 「年間を通じて取り組みたいテーマ」
2023/07/21	学生さんからの「医学生の困りごと、 ニーズ調査」の実施提案
2023/09/15	学生さんからのご発表 「外国人の医療アクセス」「海外研修報告」
2023/10/20	「看護学生・医学生の困りごと・ニーズ調査」 について、目的・質問項目の検討・話し合い
2023/11/10	「看護学生・医学生の困りごと、ニーズ調査」 について、質問項目の吟味
2023/12/14-16	徳島県 むつみホスピタル・愛媛県 御荘診療所 だれもが活躍する職場づくり・まちづくりに関する 見学学習
2024/01/19	見学実習の振り返り
2024/02/09	2024年度 D&Iプログラムに関する話し合い 「医学教育」誌 論文投稿のご相談

## 2023年度実施抄読会

日程	内容
2023/04/21	障害のある医学生のインクルージョンに関する研究者 Lisa Meeks先生のテキストを取り上げた。海外での 取り組みを知って相対的に日本の現場を俯瞰したり、 インクルージョンにおける理論的背景や方法論を 学ぶことで、普段とは違う観点から、少し解像度高く 医学の専門教育を見つめ直していく。 Equal Access for Students With Disabilities: The Guide for Health Science and Professional Education (2020) Lisa Meeks, Neera Jain, et al.
2023/05/26	Chapter 5 Accommodations in Didactic, Lab, and Clinical Settings
2023/06/30	Chapter 8 Professionalism and Communication About Disabilities and Accommodations
2023/08/04	Chapter 2 Disability Law and the Process for Determining Whether a Student Has a Disability
2023/11/07	抄読会で取り上げたいテーマ読みたい書籍について
2023/12/06	『生きづらさをひも解く 私たちの精神疾患』(2023) YPS横浜ピアスタッフ協会/NPO法人コンボ/蔭山正子
2024/01/18	『感情と看護』(2001) 武井麻子
2024/03/01	『ケアとは何か-看護・福祉で大事なこと』(2021) 村上靖彦

※書籍の購入の必要はありません



**研究協力をお願い**

東京大学医学部 医学科・健康総合科学科 学部学生向け教育プログラム2023年度  
**看護学生・医学生の  
困りごと・ニーズ調査**

本調査は、看護学生・医学生が抱えている困りごとやニーズについて、その実態を把握し、改善策を立案するための調査です。調査結果は、医学教育の改善に活用されます。調査にご協力いただき、ご自身の意見や経験を共有していただければ幸いです。

**対象者** 18歳以上  
2023年度実施期間に看護科・医学科の専攻課程に在籍している  
医学部の、1年次～5年次の学生、卒業された方、卒業された方(卒業生を含む)

**実施日時** 5月～15日

**調査方法** 調査票の記入(紙またはオンライン)による調査(郵送でも可)です。  
調査票の記入は、10分程度です。調査票の記入は、10分程度です。

**調査結果** 調査結果は、医学教育の改善に活用されます。調査結果は、医学教育の改善に活用されます。

本調査は、看護学生・医学生が抱えている困りごとやニーズについて、その実態を把握し、改善策を立案するための調査です。調査結果は、医学教育の改善に活用されます。調査にご協力いただき、ご自身の意見や経験を共有していただければ幸いです。

東京大学医学部 医学科・健康総合科学科 学部学生向け教育プログラム2023年度  
研究協力をお願い  
看護学生・医学生の困りごと・ニーズ調査

調査票の記入は、10分程度です。調査票の記入は、10分程度です。

調査結果は、医学教育の改善に活用されます。調査結果は、医学教育の改善に活用されます。

調査票の記入は、10分程度です。調査票の記入は、10分程度です。

調査結果は、医学教育の改善に活用されます。調査結果は、医学教育の改善に活用されます。

学生さんの企画・立案による  
「看護学生・医学生の  
困りごと・ニーズ調査」

## 2023年度参加者の感想

### プログラム全体について Aさん

もともと障害学やD&Iに興味を抱いていた私にとって、それを医学の観点から学ぶ、という機会は魅力的なものでした。終始温かい雰囲気の中で居心地が良く、それゆえに様々な意見交換をすることができました。特に、医学教育において学習の障壁になる要因について価値観を共有できたことは、医学部生として有用だったと思います。

### プログラム全体について Bさん

普通に生活していると、こんなものだ、仕方がないと流してしまう事柄でも、本当に困っている人もいるかもしれない、どうすれば改善できるかと立ち止まって考えるようになったと思います。

### 看護学生・医学生の困りごと・ニーズ調査について

今回の調査の質問票では、例えば校舎の構造上のバリア、講義でトラウマやプライバシーに触れる内容を扱う場面に関すること、またそのような経験や困りごとが学びの意欲や進路選択にどのような影響を与えたかについて、聞いています。結果が、医学教育の中で当たり前になっている文化・慣習を問いなおす契機となり、「ケア」に溢れた教育現場から、自他を豊かに「ケア」できる医療者が多く育っていくことを期待します。

### 抄読会について

将来医師を志す立場として、行為がかえって相手を傷つけていることはなんとしても避けたいと思い、多様性を肯定し受け入れる、D&Iの考え方を学びたいと思い、まずは抄読会から参加させていただきました。基本的に本をよんでその読後感を共有することを楽しんでいます。どんな感想を持ってこの場では許容され、咀嚼され、高度な次元に昇華される。この抄読会の場がすでに一種のインクルージョンであると感じています。

徳島県 むつみホスピタル・愛媛県 御荘診療所  
だれもが活躍する職場づくり・まちづくりに関する  
見学学習

